

# 美里町公共施設等マネジメント計画について

## <公共施設を取り巻く状況>

美里町は、これまで合併以前より人口の変動や経済発展にあわせて、学校や町営住宅をはじめとする多くの公共施設を建設してきました。しかし、現在では少子高齢化と人口減少が進み、町の財政状況は将来的にも大変厳しい状況となっております。さらに、合併後11年が経過しましたが、公共施設の老朽化が進む一方で、再編（統合、廃止含む）が思うように進んでいない状況にあります。

## <美里町の状況>

### ▶ Check① 人口将来推計

日本全体でも人口減少が懸念されていますが、美里町においても、さらに人口減少と高齢化が進んでいくことが予想されており、25年後の平成52年には、現在の約11,000人から6,500人程度まで減少するとの予測もでています。

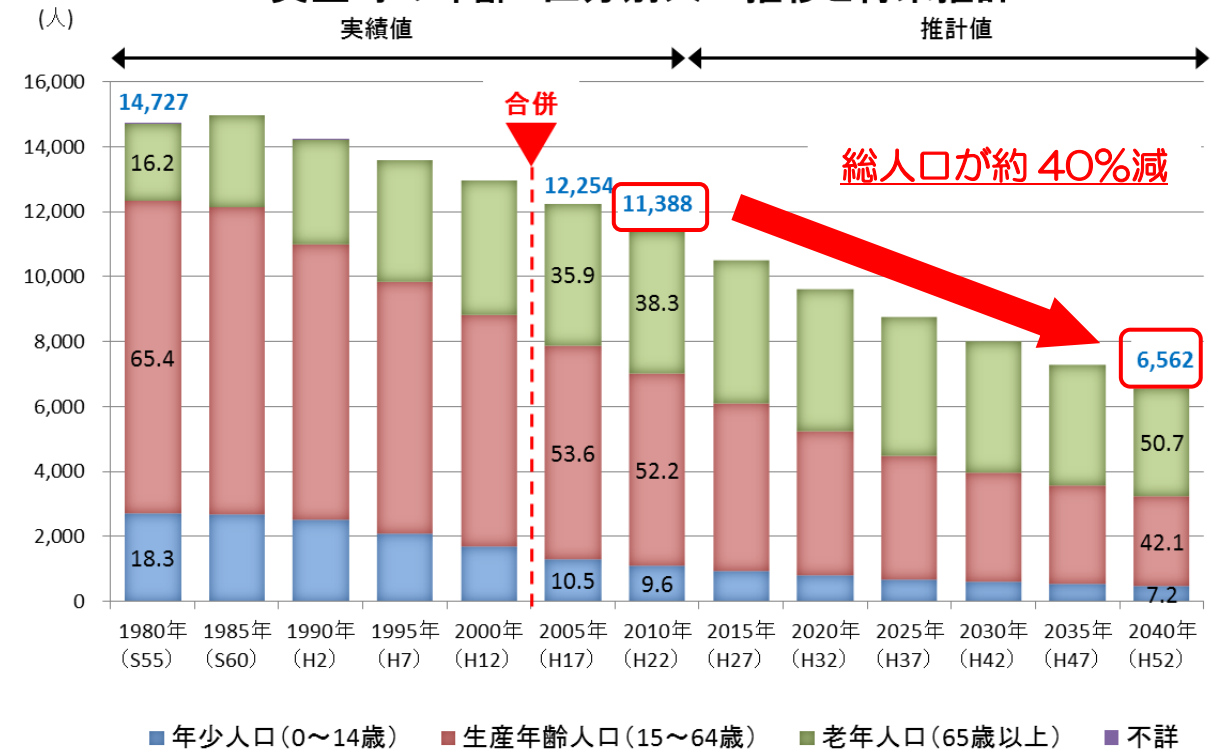
また、生産年齢人口、年少人口の割合が減少し、老年人口は全体の50%を占めることも予測されており、これは税収の減少等の町財政にも大きく影響します。

### ▶ Check② 人口分布の変化

町の全域で人口の減少が見られ、人口分布も町中心地区等への集中が予測されます。今後、こういった人口の減少や分布の変化により、公共施設の利用やニーズも変化してくると考えられるため、これを考慮した適正な配置を検討する事が必要となります。

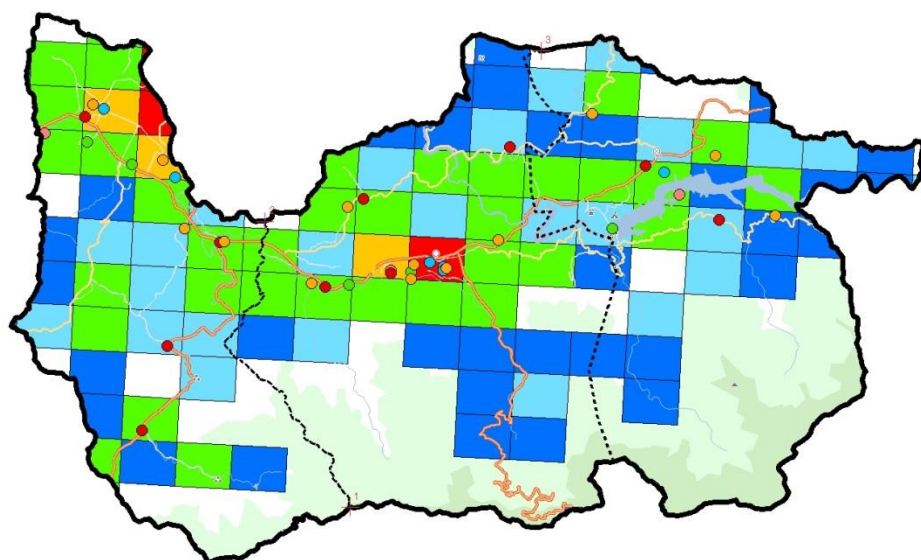
※ 下の図は、一定区域毎の人口分布を色分けしたものです。(1kmメッシュ)  
2010年現在は緑色(100人~500人)も多いのに対し、2050年推計では青色(50人未満)が大半を占めていることが分かります。

美里町の年齢3区分別人口推移と将来推計

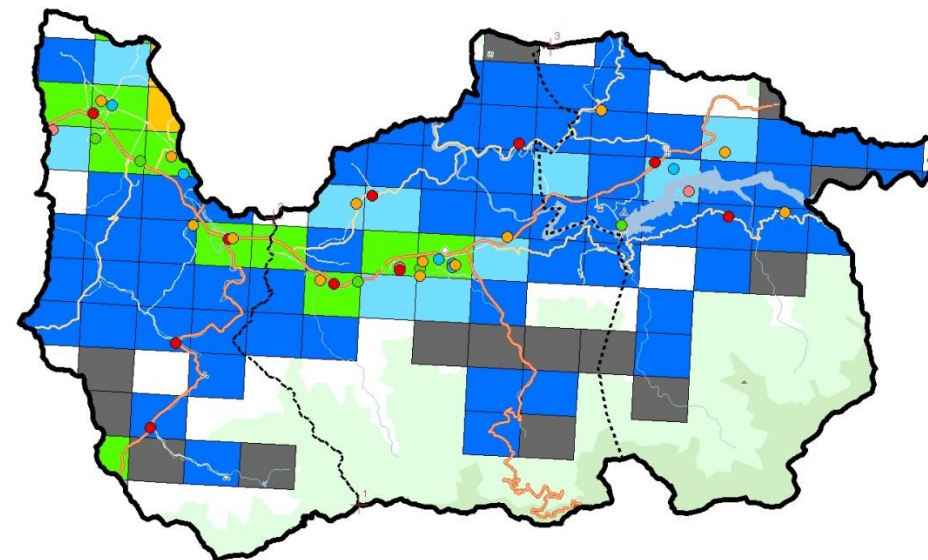


※実績値は国勢調査、推計値は国立社会保障・人口問題研究所による

【2010年現在人口分布図】



【2050年推計人口分布図】



凡例

- その他公共施設
- 学校
- 病院
- 郵便局
- 福祉施設
- ⋯ 小学校区
- 50人未満
- 50人以上100人未満
- 100人以上500人未満
- 500人以上1000人未満
- 1000人以上
- 非居住地化

※国土交通省 国土数値情報を基に作成

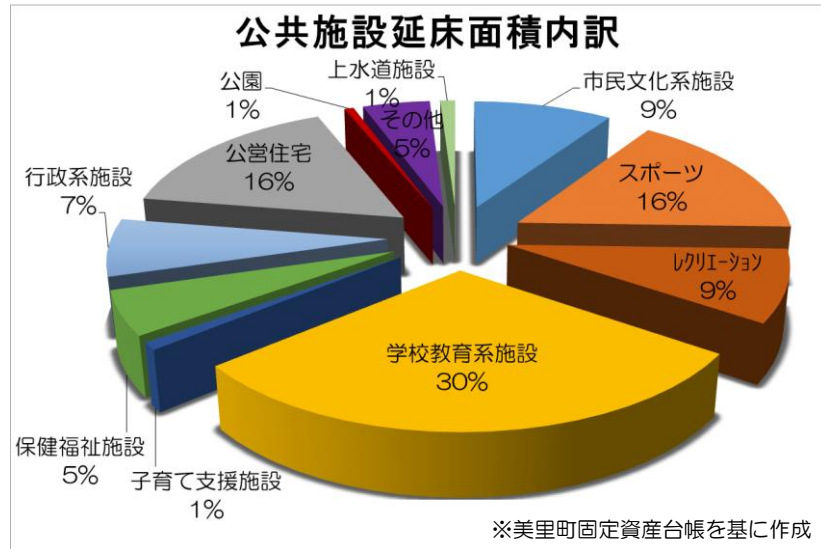
# 美里町公共施設等マネジメント計画について

## <美里町の状況>

### ▶ Check③ 公共施設の老朽化

美里町が保有している公共施設(棟数)の約4割が、建築からすでに30年以上を経過しています。これから一斉に施設の建替え・改修の時期を迎えることとなります。

また、人口一人あたりの保有床面積についても、全国平均・県内平均と比べても多いことが分かります。ただし、これは美里町が、人口の少ない割に行政範囲(町の面積)が広いためでもあり、一概に良い悪いという判断にはなりません。数値としては多いという状況です。



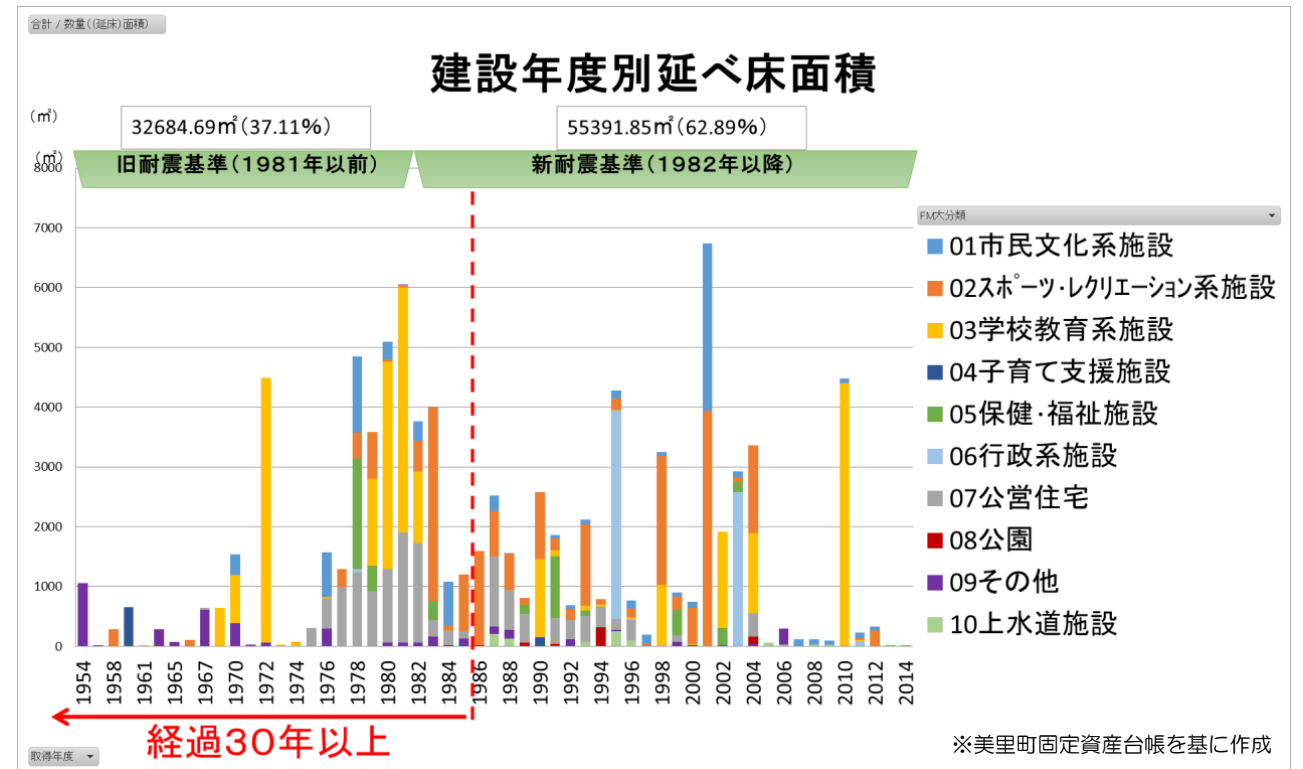
### 人口一人あたりの保有床面積比較

(平成22年度現在)

	m <sup>2</sup> /人
全国平均	3.42
熊本県平均	6.31
美里町	6.46

※一部データのない市町村あり

資料：自治体別人口・公共施設延床面積リスト(東洋大学 PPP 研究センター)



## <公共施設マネジメントの取り組みの流れ>

